

元気な風がふくまち

NAKAMA CITY Public Relations

なかま

広報

9
2010
No.874

平成22年9月10日発行



CONTENTS

もくじ

特集	2
「シルバーよりも輝け」	
<small>元気に活動する中間市老人クラブ連合会を取材。</small>	
市からのお知らせ	10
まちのわだい	12
環境・市民協働・消費者相談	14
くらしの情報・無料相談	15
健康ファミリー・医療講座	18
人権作文・中間市美術展作品募集	19
みんなのひろば	20
文芸歳時記	22

表紙の説明は22ページをご覧ください

元気だから
スイカもさらに
おいしいよ



中間市にはスポーツで汗を流したり、友人とおしゃべりを楽しんだり、地域のために一生懸命に活動したりするおじいちゃん、おばあちゃんがいます。

もし、家にひきこもっている人がいたら、元気に生活するためにも、外に出て楽しい時間を過ごしてみてもいかがでしょうか。

9月20日は敬老の日。今回は、健康づくりや生きがいづくりを通じて元気に活動している、中間市老人クラブ連合会取材しました。

特集

シルバーよりも輝け

設立

現在、全国的に老人クラブが設立され活動しています。老人クラブとはどのような組織なのでしょうか。

老人クラブって何

戦後間もない昭和25年ごろ、社会と経済の混乱、家族制度の変革などいまだかつて経験したことのないような状況の中で、高齢者自らが集い、新たな役割を求めて誕生した自主組織です。会員はおおむね60歳以上の高齢者が対象となっています。

中間市老人クラブ連合会の誕生

昭和37年に全国老人クラブ連合会が発足しました。その2年後の昭和39年4月、30クラブ、1、100人の参加を得て中間市老人クラブ連合会(以下市老連)が発足。平成22年4月現在、45クラブ、2、130人の参加を得て活動しています。

市老連の設立単位である各町内の老人クラブ(以下単位クラブ)が、それぞれの町内公民館と深い関わりをもちながら、活発な活動が日常的に行われています。

市老連は、「生活を豊かにする楽しい活動」「地域を豊かにする社会活動」を活動の全体像としています。仲間づくりをおしての生きがいと健康づくりのため、知識や経験を生かして、地域の諸団体と協働し、住みよい郷土づくり、社会づくりのために日々活動に励んでいます。



健康づくりのために行われている健康講座

市老連がめざす全体像



市老連の活動拠点

市老連は平成8年から、「太陽の広場」内にある事務所を市老連本部として活用し、市老連の運営や「太陽の広場」の管理にあたるなど活動の拠点としています。市老連本部では、地域の担い手としての魅力ある市老連をめざすため、理事会をはじめ、各分会などの会議や集会が行われています。また、現在は筑豊地区の連合会の会議なども行われています。



中間市老人クラブ連合会
●所在地 中間四丁目13-20(太陽の広場内)
●問合せ ☎(245)8432

実態

全体像を掲げ日々活動する市老連。その組織運営や課題とは、どのようなものなのでしょうか。

市老連が抱える問題

65歳以上の高齢者が増えている一方、市老連の会員数、単位クラブ数ともに、平成9年をピークに減少しているのが現状です(下図参照)。

原因としては、「会員の高齢化が進み、介護などの理由で退会者が増えている」「単位クラブ役員の後継者が決まらないことでの解散」「新入会員が少ない」「趣味の多様化で老人クラブに対する魅力が薄れつつある」などが考えられています。

「盛年部」の設立

市老連では、単位クラブ数、会員数の減少を抑え、少しでも多くの人に市老連の魅力を感じてもらおうと、平成20年4月に福岡県下でも先駆けて「盛年部」を設立。若手会員で組織する盛年部は、魅力ある市老連をめざし、加入促進運動を展開しています。盛年部長を務める小林邦廣さんは、「高齢者が増加しているにもか

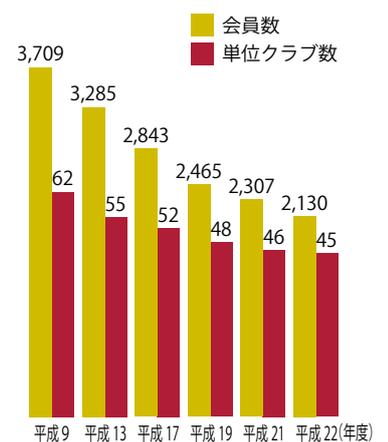
かわらず、会員の減少に歯止めがかかりません。そこで私たちは単位クラブ会員の増加、単位クラブ解散防止、後継者の育成を目的に活動しています。このまま減少が続けば、近い将来、市老連の存在意義がなくなるのではないかとという危機感さえ感じています」と話します。



小林 邦廣盛年部長
(通谷二丁目)

昔は、「老人クラブが唯一のふれあいの場」という認識がありました。現在では、ライフスタイルの変化により、サークル活動や各種講座に気軽に参加できるようになるなど、社交・ふれあいの機会が増えてきています。

市老連会員数グラフ



市老連の組織と運営

2,000人を超える会員を抱える市老連では、毎月1回役員を対象とした理事会を開催しています。

その直後に、各校区ごとに単位クラブの会長を集め、校区会長会を実施しています。

これにより、市老連と各単位クラブの連携が良くなり、リーダー育成にも大きく役立っています。



毎月1回、理事会を開催。今後の市老連の運営について協議するとともに、各単位クラブとの情報共有により市老連全体の意思疎通を図っています。

■市老連を組織する8つの部会

高齢者相互支援事業本部

高齢者相互支援・「愛の一声運動」の推進を行っています。写真は会員を対象に実施した、高齢者相互支援事業研修会の様子。



環境部

太陽の広場内の花壇の整備や、清掃活動を行うなど、太陽の広場の環境保全と改善を行っています。



盛年部

盛年層の加入促進と後継者の育成を行っています。写真は、盛年部が手作りした市老連の紹介チラシ。



女性部

女性会員の行事企画と推進を行っています。写真は市老連主催の映画鑑賞会と併せて催されたバザーの様子。



保健部

介護講演や介護施設の見学、映画鑑賞会を行うなど、会員の健康保持増進・介護予防を行っています。写真は映画観賞会の様子。



体育部

ゲートボール・グラウンドゴルフ・ペタンクなどの大会を開き、会員の体育・スポーツ促進を行っています。



社会文化部

老人大学芸能祭の開催や趣味の作品展の実施など、会員の文化行事、ほかの団体行事への参加を行っています。



教養部

会員の教養と生涯学習の推進、会員の親睦旅行などを行っています。写真はNHK北九州を見学したときの様子。



生きがいと健康づくりを体験してほしい

老人クラブに加入しなくても自分で趣味を見つけ、面倒な人付き合いはせずに、自分の好きなことだけに没頭したいと考える人もいるのではないだろうか。

「市老連にはたくさんさんの魅力があります。健康など、高齢者が抱える不安や悩みを解消できるような、講座や運動もあります。『生活を豊かにする楽しい活動』『地域を豊かにする社会活動』を全体像とした市老連の存在価値を、みなさんにも再認

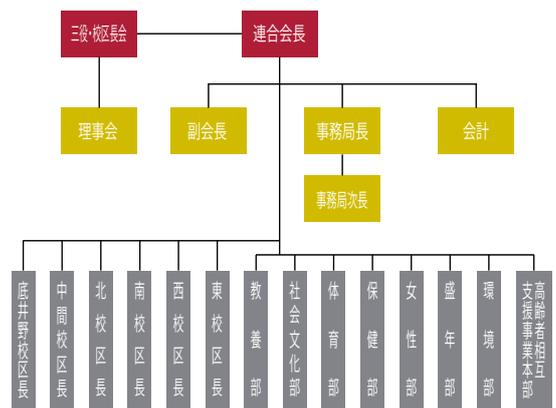
識してほしいと思います。

もし、家に閉じこもっている人がいたら、一歩外に踏み出してみてください。そこから新たな出会い、つながりが生まれ、今まで見えなかったものが見えてくるかもしれません。仲間づくりをとおして、生きがいと健康づくりを体験してほしいと思います」と話す小林さん。

高齢化が進む市老連の会員。単位クラブ存続のためにも、後継者の育成も緊急の課題となっています。

小林さんは市老連の存在価値を切に願いながら、今日も活動を続けています。

市老連組織図



※各校区長の下に単位クラブが組織されます。

活動

高齢化を自らの問題と捉え、自主的な活動を続けている市老連。その活動内容とはどのようなものなのでしょうか。

産業医科大学 公衆衛生学教室との連携

平成12年、介護保険制度の導入を契機として、会員の健康の保持増進や介護予防を目的に、「保健部」が設立されました。保健部もまた、他地域にはない市老連独自の組織です。

同年から始まった、産業医科大学公衆衛生学教室との健康講座は、同教室の学生の地域実習として市老連が受け入れたものです。講座の内容は、大学側と話し合い、会員のニーズに沿ったものとなっています。

さらに、平成18年の介護保険法の改正に伴い、介護予防に重点が置かれるようになってから



産業医科大学公衆衛生学教室の
学生を講師に招いての健康講座

は、筋力トレーニングや脳トレニング、レクリエーションなど介護予防に有

効とされていることを行い、その効果を実験しました。

どれも効果があがるという結果がわかり、現在、各地区で実施されている「ふれあい・いきいきサロン」を設立するきっかけとなりました。

自主的な活動

市老連では、高齢者ネットワーク支援活動員による高齢者同士の友愛訪問として「愛の一声運動」を行っています。

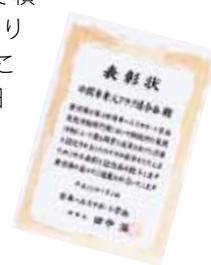
これは閉じこもり傾向にある高齢者を早期発見し、医療や介護を受けることなく暮らせるように「支え合う共助社会づくり」となるものです。

「高齢者の気持ちは高齢者が一番よくわかる」という思いからはじまったこの運動は、向こう3軒両隣での関係を密にした、地域の力となっているのです。

さらに、男性・女性健康料理教室、体育祭、グラウンドゴルフなどのスポーツ活動、介護に関する勉強会な

日本ヘルスサポート 学会賞を受賞

社会の高齢化を自らの問題として認識し、健康づくりや生きがいづくり、社会奉仕活動などをとおして積極的にまちづくりに参加していることが認められ、日本ヘルスサポート学会から実践活動部門賞が贈られました。



「愛の一声運動」を推進する 高齢者相互支援事業本部副部長に インタビュー



飛松 信行さん
(岩瀬西町)

私たちは、元気な老人が経験を生かし、知恵とパワーを出し合い、地域の高齢者を支え合いながら、老後を自分たちで安全に安心して暮らしていけるように日々活動しています。「気にかけてくれて嬉しい。ありがとうございます」という言葉を聞くと、私たちも嬉しいし、やりがいを感じますね。

高齢化が進めば進むほど、向こう3軒両隣での関係が必要となってくるでしょう。

これからも会員が相互に啓発し合い、高齢者問題全般の勉強会を通じて、支援活動の充実に努力していきます。

■市老連イベントの一部を紹介



今年から始まった「健康ウォーキング」。元気な生活を送るため、運動の習慣を身につけます。



約700人が参加した市老連最大のイベント「体育祭」。若さを垣間見る瞬間もありました。



毎年秋ごろに開催される「干支の切り絵教室」。細かい手作業で翌年の干支を作ります。



秋の恒例行事「老人大学芸能祭」。クラブ会員たちが、歌や踊りなどを披露します。



会員同士の親睦を深めるために行われている旅行。会員以外の人の参加も大歓迎です。



自分の体力を知り、運動習慣を身につけることを目的に行われる「体力測定」。

市老連の存在意義

を自主的に行っています。これらの活動は、行政のみを頼って高齢者対策を行っていくことは難しいという考えのもと行っています。社会の高齢化を自らの問題として認識し、高齢者が単にサービスの受け手になるのではなく、活力と生き甲斐のある高齢社会実現に向けて積極的な活動を行っているのです。

老人クラブは、町内会などの地域組織を基盤としています。クラブの衰退は、地域活動の停滞に直結する

ともいえるのではないのでしょうか。高齢社会を迎えた現在、生きがいづくりやボランティア活動など、地域で活動する老人クラブの存在意義は、今後ますます大きくなるとも考えられます。

また、単純に「お年寄りの集いの場」としての認識に留まるのではなく、現状認識と将来展望にたった活動が求められます。

参加することで人と出会い、ふれあい、つながる。人と人とのつながりから、地域との交流も始まる。そんな市老連の活動を肌で感じてみるのもいいかもしれません。

■「愛の一声運動」におじゃましました

今回、岩瀬西町「大膳クラブ」の活動に同行しました。声かけをとおして、コミュニケーションをとっています。活動員は右のみなさんです

川原 常彦さん



川原 弘子さん



梅林 明子さん



生駒 八重子さん



中野 正照さん



会話が弾むと、帰るのも名残惜しい気持ちです。



おばあちゃんとも仲良し。3人で大笑い。



先ほどまですごい雨。「雨があがってよかったね」



「明日もラジオ体操に来てね」と約束。



「ちょっと上がらんね」と逆に声をかけられました。

思い

長年市老連で活動してきた3人に、これまでの経験で感じたこと、これからの思いを尋ねました。



山崎 吉春会長
(土手ノ内二丁目)

私たちは、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「福祉のまちづくり」を目標に、高齢者が活力を持って地域社会で貢献できるように、「健康づくり」「介護予防活動」「閉じこもりや孤立を防ぐ友愛活動」などに取り組んでいます。

今後は、活力ある高齢社会、高齢者の自立と社会参加を一層進めていく必要があります。

地域での各種社会活動に参加すれば、社会や人とのつながりを持つことができます。言葉を交わせばみんな仲間です。市民相互が助け合い、支え合って「友愛活動」の輪を広げるとともに、「世代間交流」「社会参加活動」を進めましょう。

日本ヘルスサポート学会賞を受賞できたことは、たいへん喜ばしいことです。今後も着実に活動を積み重ねていきたいです。これまでの経験で、少人数ではできないことも、会員が集まれば大きな結果が得られたことに、市老連という組織の大きさを改めて誇りに思うことができました。

私も、高齢化のスピードと共に年齢を重ねてきました。今後も年齢の枠にとられず、生き生きと自分らしい生き方をしたいと願っています。

長寿社会に生まれた幸せに感謝しつつ、できるだけ長い時間を生きて、自分自身を磨き、長寿がよい地域社会となるような中間市を次世代に残したいと思っています。



東 悦子副会長
(朝霧二丁目)

全国老人クラブ 連合会会員章

全国共通の「仲間の印」。鶴（高齢者）が両翼を扇（未広）状に広げて、日章（日本）を担っているデザインは、高齢者の歩みが日本を守り、家庭生活を支えてきたものであることを表しています。

また、両翼の張り出しは、高齢者の衰えぬ意欲を象徴しています。



糸井 武男事務局長
(太賀四丁目)

「健康・友愛・奉仕」をモットーとする市老連では、高齢者に「ゆとり」「うるおい」「やすらぎ」に満たした生活が送れるために努力しています。そこで私たち事務局は、活動が円滑に行われるよう、できる限りサポートしています。

市老連には、スポーツ・文化・健康管理・高齢者相互支援など自分の趣味や特技を生かし、活躍している人がたくさんいます。知識や人脈など、参加することで得たものは数多いのではないのでしょうか

私は事務局に入り10年目となります。健康で活動できるのも、この老人クラブで学んだ健康教室などのおかげと感謝しています。

子ども手当は子どもたちの健やかな育ちを 応援するために支給しています

●問合先 こどもと福祉の課
☎(246)6248

**子ども手当現況届の提出を
忘れていませんか**

子ども手当現況届の提出期限(平成22年6月30日)が過ぎていきますので、まだ提出していない人は、早急に子どもと福祉の課へ提出してください。

現況届の提出がなければ、平成22年6月分以降の子ども手当が支給されませんので、ご注意ください。
※平成22年4月以降に新規で子ども手当を認定請求した人は、今回の現況届の提出は不要です。

**子ども手当の申請はお済み
ですか**

平成22年4月から始まった子ども手当制度は、中学校修了までの子ども1人につき、月額1万3千円を親などに支給するものです。

対象となるお子さんがいる人は、平成22年9月30日までに子どもと福祉の課へ申請すれば、4月分からの子ども手当を受給できます。

申請が平成22年10月以降になった場合は、申請した月の翌月分からの支給となりますので、ご注意ください。
なお、平成22年3月まで

従来の児童手当を受給していた人は、新たな手続きの必要はありません。
※公務員の人は勤務先での手続きとなりますので、勤務先に確認してください。

子ども手当の趣旨に ご理解をお願いします

子ども手当は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもとに支給するものです。

子ども手当を受給した人には、子ども手当の趣旨に従って、用いなければならぬ責務が法律上定められています。

子どもの育ちのための費用である、学校給食費や保育料などを滞納しながら、子どもの健やかな育ちと関係のない用途に子ども手当が用いられることは、法の趣旨にそぐいません。

子ども手当の趣旨について十分にご理解をいただき、子どもの将来を考え、有効に用いていたいただきますようお願いいたします。



介護給付費通知の発送を始めます

●問合先 介護保険課
☎(246)62003

介護給付費通知とは、介護保険のサービスを利用している人へ、介護保険サービス事業者からの介護保険請求情報に基づき、サービスの利用状況をお知らせするものです。

この通知とお持ちの領収書などを見比べることで、サービスの利用状況を確認することができま

す。この通知は年3回発送し、1回あたり4か月分の利用状況をお

知らせします。

1回目の発送は、9月中旬を予定しています。

※介護給付費通知は請求書や領収書ではないので、この通知で新たな負担を求められることはありません。

また、この通知の利用者負担額には、保険給付外の金額は含まれていませんので、実際に支払った額と一致しない場合があります。

堀川いつせい清掃にご参加ください

●問合先 総合まちづくり課
☎(246)6234

今年も、堀川まちおこし実行委員会による堀川いつせい清掃を行います。

貴重な歴史的遺産である堀川をきれいにするため、多くのみなさんのご参加をお待ちしています。



時30分～10時30分予定(受付は8時20分)

※雨天時は中止します。

●集合場所 中間唐戸水門(中間二丁目)

●清掃コース 2班に分かれて、一方は唐戸水門から、もう一方は曲川との合流地点から清掃を行い、屋島公園で解散します

※作業に必要な手袋やゴミ袋は準備しています。汚れてもいい服装で参加してください。

●日 時 10月9日(土)・午前8



Topic & Information

ごみ出しマナーを守りましょう

ごみは私たちの生活から必ず出てきます。ごみ出しのマナーを守り、きれいなまちをつくりましょう。

- ごみは分別して指定の袋に入れ、決められた日の朝8時までそれぞれ集積所に出しましょう
- 通勤途中などにほかの集積所にごみを出すことは、集積所を使用・管理している人たちの迷惑になりますのでやめましょう。また、ほかの自治体にごみを出すことは、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」で禁じられており、不法投棄として罰せられることもあります。絶対にやめましょう

●問合先 環境保全課 ☎ (245) 5300

訓練用消火器セットを配備しました

宝くじの助成金で整備した訓練用消火器23本と訓練用消火装置1台を中間市消防団に配備しました。これらは水道水を直接補充することで繰り返し使用でき、市内小中学校、事業所、町内で行う防災訓練などで活用します。たくさんの人に消火器を使った初期消火を体験していただくことで、火災による被害の軽減が期待できます。



●問合先 消防署 ☎ (245) 0901

福岡県民手帳の申し込みを受け付けます

福岡県の便利な情報を満載した2011年版「福岡県民手帳」の受付を開始します。手帳はポケット判(400円)、標準判(500円)、ハンドブック判(900円)の3種類あります。

●問合先 総合まちづくり課 ☎ (246) 6234

- 対象児童 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの児童
- 実施月日・対象校区
○10月14日(日)：中間小学校、中間北小学校、中間南小学校
○10月21日(日)：底井野小学校、中間東小学校、中間西小学校

●受付時間 午後1時～1時30分
●場所 保健センター
●持ってくるもの 健康診断通知書(各自宛に郵送してありますが、届いていない場合や内容に誤りがある場合はご連絡ください。また、接種済みの予防接種を母子手帳などで確認しておいてください)

※会場には上履きがありませんので、スリッパ、靴袋は各自で用意してください。



- 閲覧期間 10月1日から1年間
- 閲覧内容 指名登録業者格付名簿、格付要綱および指名要綱などに関する情報
- 中間市の公共工事の情報が閲覧できます
- 閲覧期間 発注見通し情報：平成22年度末まで
入札情報：入札終了日から1年間

- 契約情報 契約締結から1年間
※工事発注見通し情報は、10月1日以降の新規計画および変更分が閲覧できます。
- 閲覧内容 発注予定工事名、時期などや発注済み工事の入札金額、落札金額、契約の相手方など「入札契約適正化法および同法施行令」に定める内容
- 発注見通しおよび入札結果は、中間市ホームページ(契約課)でもご覧いただけます。
- 閲覧場所 契約課

小学校入学予定者の健康診断を実施します

●問合先 学校教育課

☎ (246) 62221

建設業指名登録業者の格付・指名要綱などの情報を公開

●問合先 契約課

☎ (246) 62555

温もりのある施設ができました

8月4日・「親子ひろばリンク」新築移転記念式典

中間市療育支援センター「親子ひろばリンク」が中鶴四丁目から岩瀬一丁目に新築移転したことを記念し、式典が開催されました。今回の新築移転で、全面バリアフリー、木の温もりを生かした造りとなったこの施設。言葉や身体の発達に障害がある子どもたちの訓練や保護者向けの相談を行っています。

このコーナーでは楽しいイベントや地域の話などをお届けします。



11チームが元気いっぱいの熱戦

8月1日・中間市青少年育成市民会議キックベースボール大会

中間東小学校で「第8回中間市青少年育成市民会議キックベースボール大会」が開催されました。真夏の日差しの下、11チームが激戦を繰り広げました。元気いっぱいの子どものプレーに、応援に駆けつけた保護者から大きな声援があがっていました。

○優勝…通谷四区 ○準優勝…中鶴二区B

休憩中にテレビをどうぞ

7月27日・中間市公民館連絡協議会がテレビを寄贈

中間市公民館連絡協議会（仰木節夫会長）が、結成50年記念事業の一環として、中央公民館にプラズマテレビを寄贈しました。テレビは中央公民館内のロビーに設置され、だれでも視聴することができます。この日、中央公民館を利用した中間北小学校の子どもたちは、設置されたばかりのテレビを視聴しました。



第28回

筑前中間川まつり

8月15日、筑前中間川まつりが市役所前河川敷で開催されました。晴天に恵まれたこの日、盆踊りや露店などに、多くの人が訪れました。まつりの最後は花火。歓声が起ころ中、3,000発の花火が夜空を彩りました。



エアゾール缶(スプレー缶)・カセットボンベのごみ出しにご注意

中身が残ったエアゾール缶(スプレー缶)、カセットボンベをそのままごみ収集に出すと、ごみ収集車やごみ収集処理施設での引火や破損事故など、人命に関わる重大なトラブルになりかねません。

ごみに出す前に必ず缶の中身を確認しましょう。

缶を振って「ジャカジャカ」「チャップチャップ」などの音がする場合は、中身が残っている証拠です。

最後まで使いきるか、火気のない戸外の風通しの良い場所です。ガス抜きをしてからごみに出してください。



昨年6月20日に岡垣町で発生した収集車の火災事故

軒先収集(自宅前収集)を しているみなさんへ

現在、ごみの収集は、軒先収集とごみステーション(町内地域で決めた一定の場所)収集の2つの収集方法で行っています。

やっちゃん環境

●問合せ先 環境保全課 ☎(246)6265

もえるごみ搬入量状況

平成22年度のもえるごみ搬入量は、対21年度比5%の減量を目指しています。ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

	22年度	21年度	差(22年度-21年度)	減量率
7月	1,073,590kg	1,113,510kg	△39,920kg	3.6%
累計	4225,230kg	4,409,870kg	△184,640kg	4.2%

収集車のステップ廃止、収集業務の効率化に伴い、平成23年4月1日から市内全域のごみ出し場がごみステーション化になります。準備は進んでいますでしょうか。

ごみステーションの場所は、利用者間(町内会など)で話し合っただけでいただくことになりませんので、みなさんのご協力とご理解をお願いします。

●ステーションは：

○おおむね10世帯ごとに1ステーションとします

○ステーションの間隔は約100mとします

○50m離れた一軒家は、1ステーションとします

○ステーションは収集車の通り道に設置することとします

※これらの要件をすべて満たさなければならぬことはありませんが、ご不明な点がありましたら、環境保全課衛生美化係までご相談ください。

●注意事項

○ごみは朝8時までには必ず出し、カラス対策などの防御ネットをかぶせてください

○ごみの分別、後片付け、清掃の徹底をお願いします。

●実施日

完全実施日は平成23年4月1日とし、ステーションの位置が決定した地区からステーション収集を随時開始します。



はばたけ！市民活動

～ちいさな力を集めて、まちづくり～



看護師支援の会

結婚や出産などさまざまな理由で医療現場を離れている看護師のみなさんが、不安なく職場復帰できるためのサポートや、個人のライフスタイルに合わせた就業の機会を提供しています。

また、子育て中などでも安心して仕事ができるように支援も行っていきます。毎月第1日曜日のお悩み相談会や支援講座の開催、趣味のサークル活動などとおして看護師同士の情報交換も行っています。興味がある人はご連絡ください。

●問合せ先 ボランティアセンター ☎(246)2184

NO 悪質商法

高齢者の消費者被害が多発

ご注意ください

高齢者は3つの大きな不安を抱えているといわれています。悪徳業者は「お金」「健康」「孤独」という言葉で、言葉巧みに親切に信用させ、年金などの財産を狙っています。高齢者は自宅にいることが多いため、「訪問販売」や「電話勧誘販売」の被害が多いのです。

■金融被害例

○未公開株：「上場間近の未公開株がある。値上がり確実」など

●消費生活相談窓口

☎(246)5110

と電話で勧誘されて購入したが、予定の時期を過ぎても上場されず、代金をだまし取られた

■アドバイス

うますぎる話には安易に乗らず、自分自身でよく確かめてください。「高金利」「元本保証」「有利な利殖」などのセールストークにはくれぐれも注意してください。

くらしの 情報

Information

危険物取扱者試験と 受験準備講習会を開催

危険物取扱者試験

●日 時 11月28日(日)・午
前10時

●場 所 九州共立大学
(八幡西区自由ヶ丘)ほか5
会場

●試験の種類と受験料

○甲種……………5,000円

○乙種全類……………3,400円

○丙種……………2,700円

●申込方法 9月16日(日)から

10月1日(金)(当日消印有効)

までに(財)消防試験研究セ
ンターに願書を郵送してく
ださい。また、インターネ
ットによる電子申請の受付

期間は9月13日(日)～28日(金)
です。詳しくは(財)消防試
験研究センターのホームペ
ージをご覧ください

○財団法人消防試験研究セン

ターホームページ

<http://www.shoubo-shiken.or.jp>

※願書と受験案内は、中間市
消防署にあります。

●受験準備講習会

●日 時 10月31日(日)・午
前8時30分

●場 所 遠賀郡消防本部

(遠賀町広渡1639)

※テキスト・問題集は消防署
で販売しています。詳しくは
お問い合わせください。

いずれも

●問合先 中間市消防署

☎(245)0901

ポリオ(小児マヒ)の 予防接種を行います

●日 時 10月7日(日)・受
付午後1時15分～2時

●場 所 保健センター

●対象児と接種方法 生後3

か月～7歳5か月の子に41
日以上の間隔をあけて2回
接種(無料)

●持ってくるもの 母子健康

手帳、予防票

●料 金 無料

●次のような子は接種できま
せん

○発熱している子(37.5度以上)

○下痢をしている子

※最近かかった病気や、当日
の体調などにより、接種でき
ない場合があります。

※予防票は保健センター、市

役所健康増進課、東部出張所
に準備してありますので、事前
にご記入ください。

※パンフレット「予防接種と
子どもの健康」をよく読んで
ください。

●問合先 保健センター

☎(246)1611

犬・猫の引取りが 変わります

宗像・遠賀保健福祉環境事

務所遠賀分庁舎で実施してい
る、やむを得ない事情により
飼えなくなった犬や猫の引き
取りが、10月1日から次のと
おりになります。

●引取り日 毎週月曜日・午
後2時～3時30分(祝日を
除く)

※回収を希望する場合は、必
ず事前に連絡してください。

●問合先 宗像・遠賀保健
福祉環境事務所

☎0940(36)6098

地デジの準備はお早めに

地上デジタル放送の無料相
談窓口を開設します。また、
地上デジタル放送の基礎知識
が学べる説明会を開催します。
事前の申し込みは不要ですの
で、気軽に参加してください。

地上デジタル放送相談会

●期日・場所

○9月27日(日)～10月1日(金)・

市役所本館1階

○9月28日(日)～29日(日)・ハピ

ネスなかま

○9月30日(日)～10月2日(日)・

なかまハーモニーホール

●時 間 午前10時～午後

4時

地上デジタル放送説明会

●日 時 9月27日(日)、10

月1日(金)・午後1時～2時

●場 所 市役所別館地下
会議室

いずれも

●問合先 福岡県テレビ受

信者支援センター

☎092(534)7411

「法の日」全国一斉 司法書士法律相談会

相続登記や会社設立などの

登記相談、悪質商法などの消
費者問題、借金などの多重債
務問題、訴訟、成年後見、土
地の境界の問題など、一人で
悩まず、まずはお気軽にご相談
ください。相談には無料で
応じます。

●日 時 10月2日(日)・午
前10時～午後4時

●面談相談

●場 所 北九州市立商工

貿易会館(小倉北区古船場

1・35)

●予約受付期間 9月13日(日)

～30日(日)・午前10時～午後

4時(土曜・日曜日、祝日
を除く)

●予約電話番号

☎(571)8445

※面談での相談は予約者が優
先です。

●電話相談

●相談電話番号

☎092(722)4131

いずれも

●問合先 福岡県司法書士会

☎092(714)3721

地デジ放送受信機を 無償で給付します

●対象世帯 生活保護世帯や

障害者非課税世帯などのN
HK放送受信料が全額免除
となっている世帯

●支援内容 地上デジタル放

送を受信するための簡易な
チューナー1台を無償給付
します。また、アンテナ改
修など、共同受信施設やケ
ーブルテレビの改修経費の
支援を行います

●申込締切 12月28日(日)

※天候不順などの理由で、支
援が遅れることがありますの
で、希望者は早めに申し込ん
でください。なお、平成23年
度の支援は未定です。

●申込・問合先 総務省地デ
ジチューナー支援実施セン
ター

☎(0570)033840

障害者の介助者へのチケット代金を無料化

自主文化事業に限り、障害者の介助者1人に対するチケットの無料化を試行します。

● **試行期間** 平成23年3月31日まで

●対象者

○第1種身体障害者の介助者
○12歳未満の第2種身体障害者の介助者

○第1種知的障害者の介助者

●定員

1公演につき10人(先着順)

● **問合せ先** なかまハーモニホール
☎(245)8000

病気の悩みを分かち合いましょ

難病患者やその家族を対象に、疾患や療養生活の工夫などに関する講演会と交流会を開催します。

●テーマ

潰瘍性大腸炎・クローン病の治療と病気の上手なつき合い方

● **期日** 10月6日(日)

● **対象者・定員** 潰瘍性大腸炎・クローン病患者とその家族・50人

●講師

守田則一さん(もりた内科・胃腸科クリニック院長)

●テーマ

脊髄小脳変性症

と多系統萎縮症の治療と病気の上手なつき合い方

● **期日** 10月22日(金)

● **対象者・定員** 脊髄小脳変性症・多系統萎縮症患者とその家族・50人

●講師

魚住武則さん(産業医科大学神経内科准教授)

●時間

午後2時～4時(受付は1時30分)

●会場

宗像総合庁舎(宗像市大字東郷一丁目2-1)

●参加料

無料

● **申込締切** 10月1日(金)

● **申込・問合せ先** 宗像・遠賀保健福祉環境事務所

☎0940(36)2366

平成22年度JICAボランティア秋募集

JICA九州では、青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア・シニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティアを募集します。

● **募集期間** 10月1日(金)～11月8日(日)

●体験談&説明会を開催

● **期日・場所** 10月7日(日)・ステーションホテル小倉(小倉北区浅野一丁目1-1)

○10月24日(日)・JICA九州

(八幡東区平野二丁目2-1) ※時間や応募方法など詳しくはお問い合わせください。

● **問合せ先** JICA九州

☎(671)8349

第11回中間市ボランティアまつり

「つなぐ絆を明るく未来へII」をテーマに、ボランティアまつりを開催します。多くのおみなさんのご来場をお待ちしています。

● **期日** 9月26日(日)・午前10時～午後3時

● **会場** 所 ハピネスなまかま

● **内容** 林律子さんによる講演、軽音楽集団「サンクス」による演奏、作品展示、伝統芸など

● **問合せ先** 中間市ボランティアセンター

☎(243)1292

無料法律相談会

日本司法支援センター(法テラス)では、弁護士または司法書士による無料法律相談会を開催します。相談は無料で、事前に申し込みが必要です。

● **期日** 10月5日(日)・午後1時～4時

● **会場** 所 市役所本館地下第1会議室

● **対象者** 資力基準(収入

や資産が一定の基準以下であること)を満たしている人

● **相談内容** 民事・家事・行政に関する法律相談

※相談は1人あたり30分程度。

※資力基準の概要は法テラスのホームページで確認できます。

○ホームページ

<http://www.houterasu.or.jp/>

● **申込・問合せ先** 法テラス北九州

☎050(3383)5506

訪問介護計画作成セミナーを開催

効果的で質の高い訪問介護計画作成のスキルを習得することを目的に開催します。

● **期日** 12月9日(日)・平成23年1月14日(金)

● **時間** 午前9時55分～午後4時35分(受付は9時30分)

● **会場** 所 AP浜松町(東京都港区芝公園二丁目4-1)

● **対象者** 現任のサービス提供責任者など

● **定員** 各回100人

● **参加料** 10,000円

※申込方法など詳しくはお問い合わせください。

● **問合せ先** 財団法人長寿社会開発センター

☎03(5470)6755

や資産が一定の基準以下であること)を満たしている人

● **相談内容** 民事・家事・行政に関する法律相談

※相談は1人あたり30分程度。

※資力基準の概要は法テラスのホームページで確認できます。

備えてあんしん 老後用意

ローゴヨーイ・ドン!

福岡県 国民年金基金

国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金。

自営業、フリーランスの方など、国民年金の保険料を納めている60歳未満の方(国民年金の第1号被保険者)が加入できる公的な年金制度です

老後までトク

- 掛金は全額所得控除
- 掛金は自由に設定

老後からラク

- 基本は終身、だから生涯お受け取り
- 万が一の時は一時金も

資料請求・ご相談・お問い合わせは

フリーダイヤル **0120・65・4192**

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目1番1号(博多新三井ビル11階) ■ホームページ <http://www.fukuokakikin.or.jp>

TEL 092-413-8713 FAX 092-414-5502

【広告】

買地谷しほり 2009年 加入しました!

有料広告欄

無料相談コーナー

～気軽にご利用ください～

心配ごと相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…10月2日(土)、15日(土)、28日(金)・午後3時～5時(前日まで窓口で予約受付・受付時間は月曜日～金曜日の午前9時～午後5時・定員10人)

●問合せ 中間市社会福祉協議会 ☎(244)1230

県巡回交通事故相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…10月13日(金)・午前10時～午後4時(受付は午後3時まで)

●問合せ 総合まちづくり課 ☎(246)2017

行政相談

■場所 ハピネスなかま

行政への苦情・要望などの相談に応じます。

○日時…10月2日(土)、15日(土)・午後3時～5時

●問合せ 総務課 ☎(246)6232

補聴器相談

■場所 介護保険課・ハピネスなかま

○日時…毎月第1～4火曜日・午後1時～2時…介護保険課(市役所1階)、午後2時30分～3時30分…ハピネスなかま

●問合せ 介護保険課 ☎(246)6282

消費者相談

■場所 産業振興課(市役所別館2階)

悪質商法などでお悩みのときはご相談ください。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後4時

●問合せ 消費生活相談窓口 ☎(246)5110

家庭児童相談

■場所 家庭児童相談係(市役所3階)

子どもの養育(しつけ、養育者の問題)など児童に関する相談をお受けします。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ こどもと福祉の課 ☎(246)3515

悩み・いじめ・教育相談

■場所 少年相談センター(働く婦人の家)

未成年者の非行などに関する相談はこちら。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ 少年相談センター ☎(246)0484

女性のための悩みごと相談

■場所 人権男女共同参画課(人権のまちづくりセンター)

あなたが納得のいく生き方ができるようお手伝いします。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後4時

●問合せ 人権男女共同参画課 ☎(245)7801



労働トラブル110番

労働トラブルの相談に、司法書士が無料で電話相談に応じます。

●相談日時 毎週火曜日・午後7時～8時

●相談電話番号

☎092(477)8160

●問合せ先 福岡県青年司法書士協議会

☎092(781)6787

無料介護講座を開催します

介護ステップ1日コース

●開催日・内容 9月26日(土)、12月9日(金)・高齢者疑似体験など

●時間 午前9時50分～午後3時30分

午後3時30分

介護予防体験1日コース

●開催日・内容

○9月11日(土)・介護予防運動(太極拳・失禁予防体操など)

○11月23日(祝)・音楽レクリエーション

●時間 午前9時50分～午後3時

介護実践アップコース

(全5日間)

●開催日・内容

○10月2日(土)・高齢者の病気と認知症の基礎知識

○10月16日(土)・移動介助の方法

○11月11日(金)・日常生活での介護

○11月26日(金)・身辺衛生と排泄

○12月10日(金)・食事と健康

●時間 午前9時50分～午後3時30分

いずれも

●場所 福岡県地域介護実習・普及センター(通谷一丁目36・3)

●受講料 無料

●定員 各コース24人(先着順で定員になり次第締切)

●申込・問合せ先 福岡県地域介護実習・普及センター

☎(244)4747

「法の日」週間

無料法律相談会

悪徳商法や金銭貸借など、一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

●期日 10月15日(金)

●時間 午前の部：9時30分～午後12時30分

○午後の部：1時30分～4時30分

●場所 北九州弁護士会館(小倉北区金田二丁目4・2)

●定員 100人程度

●※相談は電話予約制です。10月4日(土)・午前9時から受け付けます。

○予約電話番号

☎093(561)0360

●問合せ先 福岡県弁護士会

☎092(741)6416

近隣騒音防止ポスターデザインを募集

近隣騒音防止を呼びかけるためのポスターを募集します。採用作品には賞状と記念品を贈呈します。

●応募資格 だれでも、何点でも応募できます

※1枚の用紙につき1案とします。

●用紙 縦長であればサイズは自由です

●応募上の注意

○作品は主催者に帰属するものとし、返却しません

○未発表のオリジナル作品に限りです

○作品中に文字は入れないでください

○作品は折り曲げずに郵送してください

○採用作品は使用の際に一部修正する場合があります

●応募締切 11月30日(金)・必着

●応募・問合せ先 環境省水・大気環境局大気生活環境室(〒100・8975東京都千代田区霞が関一丁目2・2)

☎03(5521)8299

健康ファミリー

保健センターだより

保健センター ☎(246)1611

乳がんとピンクリボン

■人生後悔しないように

昔は結婚や出産の時期が早かったため、早くから女性特有の病気をチェックする機会がありました。

しかし現代では、女性のライフスタイルの多様化、社会的役割の変化に伴い、晩婚化したり出産回数が減少したりしています。そのため、婦人科系の疾患をチェックする時期が遅れたり機会が減ったりしていると考えられます。

また、食生活の欧米化なども女性の身体と健康に少なからず影響をおよぼしています。

将来の妊娠・出産に備えたり、仕事をとおして充実した人生を過ごせたりできるように、乳がんや子宮筋腫、子宮内膜症などの女性特有の疾患を正しく知り、後悔しないよう賢く

く生きることが重要です。

■悲しみを繰り返さないで

ピンクリボンに込めたメッセージ
1980年10月、アメリカ合衆国に住む女性が乳がんで亡くなりました。その家族が同じ悲しみを繰り返さないよう願いを込め、乳がんの早期発見の大切さや正しい知識を知ってもらうための活動を始めました。これがピンクリボン運動(乳がん予防)の始まりとされています。

日本でも市民団体や企業、患者会などが活動を行っています。中間市も昨年度、ピンクリボンのシンボルマークをみなさんの協

力で製作し、女性の健康づくり応援フェアを実施しました。



中間市オリジナルの乳がん予防ロゴマーク「ピンクリボン」

■乳がんはどんな病気?

乳房内の乳腺にできる悪性腫瘍です。しこりができるものが最も多いのですが、中にはしこりを作らないものもあります。乳首から血液のような汁が出てくる場合もあり注意が必要です。初期は腫瘍が小さいため手で触っただけはわかりづらく、自覚症状もあまりないので、見逃してし

まいがちです。マンモグラフィによる画像診断(乳房を挟んでのエックス線撮影)でチェックしましょう。

■だから検診を受けよう

日本人女性の20人に1人がかかると言われていた乳がんは、30〜50歳代の女性が亡くなる原因の第1位を占めています。早く見つけると高い確率で治るがんです。

検診を受ける女性がとても少ないのが現状です。

中間市乳がん検診受診率

18年度	12.1%
19年度	12.3%
20年度	13.8%
21年度	17.4%

10月はピンクリボン運動強化月間です。積極的に検診を受けましょう。健康づくりカレンダーにある申込はがきで申し込んでください。

●検診日・場所

- ① 11月8日 困・ハピネスなかま
 - ② 11月9日 困・10日 困・11日 困・保健センター
 - ③ 平成23年1月30日 困・保健センター
 - ④ 1月31日 困・ハピネスなかま
 - ⑤ 2月1日 困・農事センター
 - ⑥ 2月2日 困・保健センター
- 申込締切
- ①、②：10月4日 困
 - ③～⑥：12月20日 困

知って得する 医療講座

Medical Lecture

No. 36

股関節

■今回の講師■



産業医科大学病院整形外科 森俊陽 医師

中間市立病院 ☎(245)0981
中間市蓮花寺三丁目1-7

股関節は太ももの付け根あたりにあり、胴体(体幹)と脚(下肢)をつなぐ重要な部分です。

日ごろあまり気にすることはないですが、多くの病気があり、問題があると日常生活で非常に困ることがあります。

今回はその主な病気を紹介します。

あかちゃんのとときの股関節は柔らかく、まれに自然と脱臼していることがあります(先天性股関節脱臼)。

これに気づいていないと、大人になっても歩き方がおかしかったり、関節が早く痛んでしまったりすることがあります。

小、中学校のころには筋肉の成長に骨の成長がついていけず、股関節の一部である大腿骨の頭の部分が痛んだり(ペルテス病)、成長線の部分が痛んだり(骨頭すべり症)することがあります。

壮・中年期になると、肩には五十肩、肩関節周囲炎

という病気があるように、股関節にも同じように痛みが出る場合があります。五十股、股関節周囲炎ともいう状態です。

その中の一つに股関節唇損傷があります。

股関節唇とは骨盤側のへりを覆う軟骨で、関節内に収まっている大腿骨の頭の部分が外にはずれるのを防ぐ土手のような役割を担っています。

ここに裂け目が入って、裂けた股関節唇が引っかかることで、股関節のスムーズな動きを妨げ、痛みを引き起こします。

高年期で多いのは、関節の老化による変形(変形性股関節症)で、立ったときに痛みがでたり水がたまったりします。骨粗鬆症の場合には、急激に大腿骨の頭の部分がつぶれてくることがあります。

いずれの場合でも、早めに検診を受けて、早めに発見することが重要です。

子どもたちの瞳に映るもの

「いじめを見た」

吉田 亜美さん
(中間小学校5年)

平成21年度小・中学校人権作文から

私は、四月に転入してきたある女の子が、なぜか、さけられていたからだ。私は、転入してきたばかりだったので、その女の子が何をしたらかなどわからなかった。後日、私は、なぜその子がさけられていたのかが初めて、わかった。それは、小さなしやうがいを持っていたからだ。前の学校でも、しやうがいを持った子は、いたけど、別にそこまで差別をしては、いなかった。

ある日、私が友だちと遊んでいると、その女の子が一緒に遊ぼうと言って来たので私は、返事をしようとした。もしたら、一緒にいた友だちが急に手をひっぱって走り出したので、私は、わけもわからずついていった。そして、そのようなことが何度か続いて、いつのまにかその子を私も、差別しているのに気づいた。その後、そのことを先生が話してくれた。

「Aちゃんは、みんなとは少しちがうかもしれませんが、Aちゃんに冷たくあたったり、その子の話をむししたりするのはやめてください」と。先生が言った後は、その子に対する「いじめ」は少なくなりました。

私は、その女の子には、なにか、いじめられる原因があるんだなと、思った。

でも、その子に小さなしやうがいがあったって、みんなにはあたりまえのこと、その子にとっては、少しむずかしいことなんだろうなと、その子の気持ちになって考えることの大切さが少しわかったような気がした。

私は、少しその子に直してほしいこともあるけど、してはいけないことは、きちんと注意してあげようと思う。

これからは、その子に対して、差別せず、一つ一つの質問などに答えてあげて、一緒に遊ぼうと思う。

先生が話したことは、みんなにも、そして私にも、とてもその子の気持ちになれるようにしてくれたんだと思う。

人権標語

あたたかい 笑顔で伝える マイハート
中間南中学校2年 石井 なつみさん

優しさで 人の心が 救われる
中間中学校2年 竜口 雅さん

思いやり 態度で示そう 言葉より
中間中学校2年 宮原 咲さん

特設人権相談所を開設しています

「いじめ問題」「家庭内の問題」「差別問題」などの相談に、人権擁護委員が応じる特設人権相談所を毎月1回開設しています。相談は無料で秘密は固く守られます。予約などは不要ですのでお気軽にご相談ください。

- 期 日 毎月第2水曜日
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- ※10月の相談日は、13日です。
- 場 所 人権のまちづくりセンター
- 問 合 先 人権男女共同参画課
- ☎(245)3511

中間市美術展作品募集

中央公民館では第53回中間市美術展の開催にあたり、たくさんの方の作品を募集しています。この機会にぜひみなさんの傑作を出展してみませんか。

- 開催日時 11月5日(土)～7日(日)・午前9時～午後5時(7日は午後3時まで)
- 場 所 なかまハーモニーホール展示室・展示ロビー・大ホールホワイエ
- 募集部門 絵画、書道、写真、陶芸、自由
- ※いずれも、公募展で未発表のものに限ります。
- 出品規定(一人2点以内)
- 絵画…日本画、洋画(水彩・油彩・パステル)、版画、染色とし、4号以上100号以内で額装または軸物とします

- 書道…121cm(4尺)×241cm(8尺)以内で縦横自由、表装とします(書き下ろし不可)
- 写真…単写真、組写真とも4つ切り以上で枠張りとしします
- 陶芸…縦・横・奥行ともに50cm以内、重量は10kg以内とします
- 自由…ちぎり絵、押し花、グラフィックデザインとし、4号以上100号以内で額装または枠張りとしします

- 応募資格 原則として中間市内に居住または通勤、通学している人、および市内で美術製作している人

- ※中学生以下は応募できません。
- 作品搬入受付期間・場所
- 10月24日(日)、25日(月)・午前9時～午後7時・なかまハーモニーホール(裏側搬入口)
- ※搬入期間を過ぎたときは、受け付けできません。
- ※応募作品には、必ず吊環とヒモを付け、中央公民館で用意する出品票を添えてください。
- 作品搬出日時 11月8日(日)・午前9時～午後6時
- 問 合 先 中央公民館 ☎(246)2321



みんなのひろば

このページは、みなさんでつくるコーナーです。イラストやマンガ、エッセイ、お知らせなどをお待ちしております。はがきで広報広聴係までご連絡ください。



Cooking

今月のおすすめ料理



ひき肉とはるさめの炒め物

材料(4人分)

豚ひき肉…200g、はるさめ…100g、玉ねぎ…1/2個、にんじん…1/2本、なす…1本、ピーマン…1個、しょうが…んにく(みじん切り)…各大匙1、かたくり粉…大匙1/3、水…大匙2/3、サラダ油…大匙1、ごま油…小匙2、A(酒…大匙2、しょうゆ…大匙2、砂糖…小匙1、だし…2勺、塩…こしょう…各少々)

作り方

- ①はるさめは熱湯につけて戻し、冷まして大きめに切る。玉ねぎは1cm幅に切り、にんじんはちょう切りにしてゆでる。へたを取ったなすとピーマンは乱切りにする
- ②中華鍋にサラダ油を熱し、しょうが、んにくを炒める。ひき肉を加えてパラパラになるまで炒め、野菜も炒める
- ③②にAとはるさめを加えてひと煮し、水溶きかたくり粉でとろみをつけ、最後にごま油を加える

エネルギー 296kcal 食塩 1.4g

中間市食生活改善推進会(緑の会)

※さあ書道にチャレンジ

墨親会

自分で目標を持って、基本や課題を練習しましょう。初心者大歓迎です。

- 日 時 毎週土曜日・午後1時30分～3時30分
- 場 所 生涯学習センター
- 科 目 漢字、かな、実用書体など
- 問 合 先 三輪宅
☎(244)8706

※福岡県民さわやかマラソン

- 日 時 11月14日(日)・午前10時(雨天決行)
- 場 所 海の中道海浜公園
- 募集人員 2,000人程度
- 種 目 1kmコース、2kmコース、5kmコース、10kmコース
- 申込締切 10月15日(金)
- ※申込方法、参加料など詳しくはお問い合わせください。

- 申込・問合先 福岡県民さわやかマラソン大会事務局
☎092(643)6001

※絵たより「絵夢の会」第11回作品発表会

- 絵たより「絵夢の会」の作品発表会を開催します。
- 日 時 10月2日(土)～3日(日)・午前10時～午後5時
- ※3日は午後4時までです。
- 場 所 なかまハーモニーホール・展示ロビー
- 問 合 先 中島宅
☎(245)2069

※中間市囲碁まつりを開催

- みんなで囲碁を楽しみましょう。多くの方のご参加をお待ちしています。
- 日 時 10月11日(祝)・午前10時(受付は9時)
- 場 所 なかまハーモニーホール

ルール

- 対局方法 ①高位戦②段位戦③大人の級位戦④小・中学生級位戦
- ※①～③は4回戦全勝者からスイス方式にて上位2人で優勝決定戦。④は1級から20級まで4パイトに分けて対局。

●参加料

- 段の部：3,000円
- 級の部：2,000円(小・中学生は1,000円)
- 問 合 先 田代携帯
☎090(2394)1934

※第17回なのみ祭を開催

- ステージでの出し物、作業作品の販売などを予定しています。
- 日 時 9月18日(日)・午前11時30分～午後3時
- ※雨天決行です。
- 場 所 なのみ園
- 問 合 先 なのみ園事務局
☎(245)6178

※川柳を楽しみませんか

川柳に興味がある人、句会に出て楽しみませんか。これから始めたいと思っている人、一緒に勉強しませんか。みなさんの参加をお待ちしています。

●日時・場所

- 毎月第1月曜日(午前10時～正午)・弥生公民館
- 毎月第1金曜日(午後1時～3時)・中央公民館
- 毎月第1日曜日(午後1時～3時)・通谷公民館
- 毎月第4土曜日(午後1時～3時)・新手工民館

●対象者 川柳に興味がある人

- 会 費 誌友費 4,800円(機関誌毎月発行1年分)
- 句会費 月100～200円(開催場所ごと)
- 問 合 先 「川柳くろがね吟社」吉富宅
☎(244)7298

豆知識!

ドアの鍵穴にはほこりがたまりやすいもの。電気掃除機のホースを当ててほこりを取ると、鍵がスムーズに開閉する。

ホンのムシ

●問合先 市民図書館 ☎(245)4664

●今月のおすすめ図書●



アンモナイトの森で

市川洋介・作 水野ぷりん・絵

純粋なたましいを持ち、森に生きる動物たちの心をも理解できるために、人と自然のあいだで、悩み苦しむ少女チヨ。明治期の北海道開拓地を舞台に、アンモナイトの化石をめぐり、少女と大人たちが織り成す感動のドラマ。



国宝よみがえる色彩

小林泰三・著

高松塚古墳壁画、東大寺大仏殿…。国宝の本当の色を知っていますか。WOWWOW「美術のゲノム」案内役の小林泰三が、古墳の壁画から絵巻物まで、デジタル技術を駆使して失われた当時の色と姿を復元する。

●おはなし会●

- 日 時 9月11日(日)・午前11時～
- 内 容 絵本の読み聞かせなど
- 協 力 遊！遊！読書

わが家のすこやかちゃん



まつい ゆう ちゃん
松井 結ちゃん

平成21年4月20日生(長津三丁目)
よく食べて人見知りをお
まりしない結ちゃん。明る
く元気に育ってネ。



おにし ゆう た ちゃん
大西 悠太ちゃん

平成21年5月21日生(小田ヶ浦二丁目)
お散歩が大好きな悠太く
ん。お友だちをたくさんつ
くって、元気にいっぱい遊
んでね。

編集 後記

▶今回取材した中間市老人クラブ連合会のみなさんは、とても元気。そしてよく笑う。元気の秘訣は、共通の目的を持ち、同じ時間を過ごすことかもしれません。趣味やボランティアなど、きっかけは何であれ、家に引きこもらずに外に出れば、そこで新たな出会いがあるでしょう。人と人のつながりから、地域もつながっていくのではないのでしょうか。(謙)

ひまわり大きくなったよ



6月の初旬に3年生の保護者からひまわりの苗を寄贈してもらいました。それから、今年作った花壇で全校生徒で育て始めました。各学年それぞれにある花壇に、大切に植えられたひまわり。最初は小さかったけれど今では子どもたちの背丈を追い越すほどに成長しました。大きいものから小さいものまで、成長が見てわかるひまわりに、子どもたちは毎日楽しみに水をやり、成長を観察しています。

中間西小学校

精霊船を作り続けて40年



父親が亡くなったときに作ったことが始めたきっかけです。それ以来、約40年作り続けてきました。今でも知人の供養のためにと作り続けています。大きさもさまざまですが、1つ作るのに約2か月くらいかかります。時間もかかりたいへんですが、お渡ししたときに喜んでもらえる私も嬉しいですからね。好きで始めたことだから、私が健康なうちは作り続けたいですね。

豊岡 金満さん(浄花町)

文芸歳時記



→小西ヒロ子さん(朝霧一丁目・作)

俳句

追山笠の男を燃やす雨ならむ 太賀一丁目 中山 富子
 暴れ梅雨鴉も声をひそめけり 通谷五丁目 後藤 欣子
 下闇の古墳の扉錠固し 太賀一丁目 緒方 益子
 短冊のあせし風鈴母は亡き 中鶴一丁目 平野 静子
 梅雨深し昼を灯して骨董屋 土手ノ内二丁目 小田 敏子

永山 篁選

短歌

初夏の風若者達にツーリング共に行きたし五月の海へ 太賀一丁目 石田 順子
 先立たれし妻の想いを抱きしめて世の風捨てて波の音きく 土手ノ内一丁目 岡本 マキ子
 代替わり建て替えられても夢に出る在所の家は藁葺きの家 弥生一丁目 吉田 千歳
 受け皿に溢るる銘酒「二本義」舐めずり啜る新宿の夜 芦屋町 井地 國男
 空港にふたたび降り立つ日を望み袖ふり遣らず筑紫野を去る 八幡西区 宮崎 美芳

中間市短歌会

立花 勲選

川柳

恋文に彩り添える花切手 鍋山町 金子 哲也
 菜園の真つ赤なトマトよろこばす 弥生一丁目 堀 すみ子
 円満の秘訣支えは手料理で 中間三丁目 花川 民子
 涙流し叱ってくれた親がいた 扇ヶ浦二丁目 大串 美佐子
 思い出のページ葉が語りだす 朝霧二丁目 小崎 国雄

吉富 廣選

表紙説明

8月27日に、太陽の広場で開催された中間市老人クラブ連合会と中間市子ども会育成連絡協議会との交流「こどもと高齢者のふれあい大会」。グラウンドゴルフを楽しんだ後に、みんなで昼食。世代を超えた交流が行われました。

■「広報なかま」の配布は発行日から開始します。みなさんのお手元に3日以内でお届けできるようにしています

■発行 福岡県中間市役所 ■編集 総務課広報広聴係
 〒809-8501 福岡県中間市中間一丁目1番1号

TEL 093(244)1111 FAX 093(245)5598

■ <http://www.city.nakama.fukuoka.jp/>

■ webmaster@city.nakama.fukuoka.jp

■今回の「広報なかま」にかかった経費は1部約31円です